

骨粗鬆症こつそしょうしょうの

治療をして

います。



**骨粗鬆症こつそしょうしょうの
治療には、「クスリ」を
続けることが大切です。**

骨粗鬆症の薬物治療を始めた患者さんのうち、クスリの効果を感じられないと開始後一年で服用をやめてしまう人が約45%もいます[※]。治療薬の服用を続けることが、あなたの骨折のリスクを減らします。クスリが飲みにくいなど、服用がむずかしい場合は医師や薬剤師にご相談ください。

おさんぽを
楽しみましょう。



※「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(ライオンサイエンス出版)

クスリを始めたらずっと続けなくちゃいけないの？

先生教えて？



Q 骨折が治ったし、痛みもなくなりました。もう骨そしょう症のクスリは必要ないかなって思います。



A 実は、「骨そしょう症が治る」という言い方はぴったりあてはまらないのですよ。骨そしょう症の方は次にまた骨折するかもしれないのですから…。



Q えっ、つまりクスリを始めたらずっと続けなくちゃいけないのですか？



A はい。骨を強くして骨折を予防する、それが骨そしょう症のクスリの役目です。言わば「転ばぬ先の杖」ですね。



Q でも本当に効いているのか実感できないし、続けていくのも何かと面倒だし…。



A クスリを続けた方が骨折しにくくなることがわかっています。続けていくために、ライフスタイル(服用回数・間隔)やクスリの形(飲み薬、注射、点滴)など、自分に合ったクスリが選択できますよ。



Q そうですか！でも…やっぱりクスリは副作用がこわいんです……。



A 残念ですが、副作用が全くないクスリはないのです。骨折して寝たきりになることを考えたら、クスリを怖がるのではなく、不安や疑問を医師や薬剤師に遠慮なく質問しましょう。



さらにココがポイント！

「骨粗しょう症連携手帳」があればより治療に役立ちますよ。



監修：北陸大学理事・教授(薬学部薬学臨床系)／北陸大学健康長寿総合研究グループ長 三浦雅一